

AJEEP Scheme 4 ECAP30 受入研修を実施しました

【事業概要】 一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて令和5年度もアセアンとの多国間省エネ協力 AJEEP Scheme 4 事業を実施しています。今年度はSAEMASの共通標準研修モジュール（CSM）の詳細協議等のため、エネルギー管理士制度の進んでいるアセアン5カ国の訪問を3回、10月に実施するとともに、引き続き対面ベースのECAP30受入研修を11月6日から11月10日までの5日間、実施しました。



集合写真（初日）

1. 日程：2023年11月6日（月）から11月10日（金）
2. 研修生：ブルネイとミャンマーを除く8カ国とACEの計9名。一部オンライン参加あり。
3. 講師：METI；1名、ECCJ；7名、ACE；1名
4. 研修目的：AJEEP Scheme 4でのSAEMASの共通標準研修モジュール(CSM)を確定すべくエネルギー管理士制度の進んでいる5カ国を10月に訪問し詳細の確認と協議した結果を受けて、アセアン各国のSAEMAS WGメンバーを日本に招いてSAEMASの全体構想を共有・協議する。
5. 研修日程：
 - (1) 11月6日（月）：METI, ECCJ, ACE 基調講演、参加国エネルギー管理士システム報告と各国比較・分析
 - (2) 11月7日（火）：CSM内容の詳細説明と討議、各国エネルギー管理士研修モジュールとの比較分析
 - (3) 11月8日（水）：CSM運用に関するグループ討議と報告、CN実施企業訪問（S社）
 - (4) 11月9日（木）：AM (Advanced Module)構成・内訳概要説明、CN実施企業訪問（D社）
 - (5) 11月10日（金）：MRA Guideline概要紹介と討議、Scheme 4の今後の予定
6. 結果概要：
 - (1) 各国のエネルギー管理士制度・研修内容に関する確認を踏まえて、CSMとの対比と差異の補充方案に対する基本的な了解が得られました。
 - (2) CSMの運用に関するグループ討議が活発に行われ、課題の掘り起こしと各種提案が得られ、今後の整理の基盤が出来ました。
 - (3) AMの構成要素とMRA Guidelineに関する議論が活発に行われ認識が共有されました。
 - (4) Scheme 4では、来年1月と2月にオンラインワークショップを予定していて、今回、討議された諸点と課題を整理して準備を進めます。

以上

注：AJEEP：ASEAN-Japan Energy Efficiency Partnership

SAEMAS：Sustainable ASEAN Energy Manager Certification Scheme

CSM：Common Standard Module（共通標準研修モジュール）

MRA：Mutual Recognition Arrangement（相互認証協定）